

令和6年度第1回江南市地域公共交通会議検討部会 会議録

- 日 時 令和6年5月24日（金） 午後3時～午後5時
- 場 所 市役所3階防災センター仮眠待機室・救護室
- 委 員 出席14名（松尾 幸二郎、大野 淳、本地 祐一郎、小林 小百合、長屋 涼、高橋 正博、早川 光明、尾関 明彦、森 ケイ子、宮川 高彰、伊藤 光洋、大野 一造、小森 洋子、鵜飼 篤市）
欠席1名（野呂 直樹）

- 傍聴者数 5人

●資 料

- 資料1 : 令和4年度江南市地域公共交通（いこまいCAR・バス）の利用状況
- 資料2 : いこまいCAR（予約便）乗車地（小学校区別）利用者乗降車地順位（R4年度実績）
- 資料3 : AIオンデマンド交通の調査結果について
- 参考資料 : 江南市内の主な乗降車地実績
江南市における地域公共交通の基本的な考え方
江南市地域公共交通会議設置要綱
江南市内のバス停・路線図
いこまいCAR（予約便）ご利用案内

開会（午後 3 時）

○副市長あいさつ

○議題

部会長の指名

部会長には松尾委員、職務代理者には鵜飼委員を指名

○選任あいさつ

部会長 豊橋技術科学大学の松尾と申します。大口町の公共交通会議でも関わっており、県内のいくつかの自治体でも会議等に関わらせていただいています。私自身、江南市の地域のことは詳しくないので、他の市の事例等の紹介で貢献できることはあるかと思いますが、地域のことについては皆さんからアドバイスをいただきながら進めていければと思いますのでよろしくお願いいいたします。

○いこまいCAR（予約便）、名鉄バス（補助路線）及び大口町コミュニティバスの利用状況について

部会長 まずは議題（2）として「令和4年度地域公共交通に関する自己評価について」事務局より説明をお願いします。

事務局 資料1、資料2および参考資料に基づき説明

部会長 ご意見、ご質問等ありましたらお願いいいたします。

委員 資料2の表の右「計（便）」についてはどういう値ですか。また「利用者数（人）」はどういう値ですか。

事務局 令和4年度のいこまいCARの実績便数です。例えば、往復利用では、2便となります。利用者数（人）については、いこまいCARを1回でも利用者した人の数であり、1回利用した人でも、10回利用した人でも同じ1人としてカウントします。

部会長 例えば、Aさんが1回乗っても、Bさんが100回乗っても1人とカウントしています。資料2の表の右「人口に対する利用者割合（％）」でみると、人口に対して、各小学校区ごとに、利用者約1～4％乗車していることとなります。ほとんどの人は自家用車を利用しているため、この割合は、それほど少ない数字ではありません。（これから事務局にて話す）議題（3）

の内容について、いこまいC A Rの利用状況が非常に関わってくると思います。

○江南市地域公共交通会議検討部会の検討内容の方向性について

部会長 最初に検討部会の趣旨をご説明ください。

事務局 本市では、昨年度、いこまいC A Rのひっ迫を解決するため、A Iが最適なルートを編み出し、乗合運行をすることで効率的に利用者を運搬することを可能にするA I オンデマンドを導入する自治体の視察を重ねて調査・研究を重ねてまいりました。各自治体をまとめたものが資料3の表となっています。各自治体の調査結果につきましては、委員の皆様には後ほどご覧いただくこととしまして、資料3 3ページの調査で共通した事項をご覧ください。

事務局 資料3に基づき説明

部会長 個別の輸送であるとドライバーや車両数の問題があるので、名鉄バスほど大きくなく、タクシー車両よりも大きい、中間くらいの公共交通の導入を検討するにあたり、いこまいC A Rに制度的に近く、近隣でも導入されているA I オンデマンド交通を調べた結果が3ページに載っています。いくつか異なる個人が同じような時間、同じ目的地に向かう交通手段を事務局として考えており、タクシー車両より大きいハイエースや、幼稚園バスのような車両サイズを検討しています。事務局として、市全域は難しいため、北部地域を考えているという話がありました。こういったことを踏まえてご質問頂ければと思います。

委 員 今回、市北部地域を選んだ理由は何ですか。一宮市や犬山市で導入しているコミュニティバスは検討の余地はありますか。

事務局 市北部地域の導入理由については、資料2にあるようにいこまいC A Rの人口に対する利用者の割合が地域の割合として藤里小学校区や宮田小学校区が多いため、その地域を選定しています。これまでフラワーパーク江南や蘇南公園などは路線バスの接続が無いため、そのような地域も回ることによって利便性の向上につなげたいと考えています。コミュニティバスについては検討外としているわけではなく、A I オンデマンド交通を調査した結果から、その中で見えてきた課題に対して江南市の地域特性にあった公共交通を導入していけたらと考えています。

委 員 次回までに事務局にてコミュニティバスの検討結果をまとめてもらえたらと思います。

部会長 資料3 3ページの三つ目の「○移動のニーズの把握」があります。同じ時間帯に同じ目的地に行くニーズをまとめることで、運送効率を高めることが出来る、とあります。時刻が決まっていなくて他の利用者との調整が必要となるので、乗合率は低くなりますが、時刻を決めると乗合率は高くなる場合があります。場合によっては、コミュニティバスということもあり得ると思います。江南市ではいこまいCARから得られるデータを分析し、予約がない一般的なバスがいいか、予約があり、時刻が決まっているのいいか、あるいは時刻も全く決まっていないうがいいのか検討していければと思います。

委 員 (私は)公共交通会議に出席していますが、令和5年度の公共交通会議で議題として今回の検討部会についてあがっていなかったと思いますがどうですか。

事務局 令和5年度第2回の江南市地域公共交通会議の議題にて、AIオンデマンド交通の調査結果について報告事項として、ご説明させていただきました。また、協議事項として検討部会を立ち上げていくという議題をあげさせていただき承認いただいたところでございます。

委 員 分かりました。ありがとうございます。

部会長 (新しい公共交通が)いこまいCARより便利で使いやすい公共交通でないと利用されないため、検討していく必要があると思います。

委 員 新しい公共交通を導入する場合には、該当地区からいこまいCARは外すのですか。

事務局 新たな公共交通を導入した場合でも、いこまいCARの運行区域は市内全域で変える予定はありません。

部会長 そういった意味では、いこまいCARよりも便利で安くないと(新しい公共交通は)利用されない、と思います。他の地域でも、バスが多いところにいこまいCARに近いタクシーを導入しているところが多いです。

委 員 いこまいCARでは市外に出られないため、例えば、市民が市外の病院に行く際には市境までいこまいCARを使い、そこから歩いていくことにな

る。これは福祉の問題か公共交通の交通の問題か難しいところでありますが、新しい公共交通を導入するうえで、市外利用も検討の一つとしてほしいです。

部会長 いこまいC A Rに時間制限を設けるとか、新しい公共交通で市外利用できる施設を限定する等、今後検討する必要があります。

委 員 北部地域の公共交通の運行区域は北部地域に限定しますか、(それとも)江南駅等まで接続しますか。北部地域への導入を検討する理由は何ですか。

事務局 いきなり市内全域で公共交通を導入することは難しいことから、まずは北部地域から検討を始めることとしました。運行区域については、既存の公共交通に影響の少ないように既存の路線バスへの乗り換え拠点を設けたいと考えています。

地域公共交通会議検討部会の設置については昨年度の地域公共交通会議でご報告させていただきまして、北部地域への導入については市から提案させていただいたものであります。

委 員 地域公共交通会議では、交通事業者が多く、市民の参加者は公募委員1名と私の2名だけであったため、今回のような公募委員が多い会は、市民の意見を届けられるので、非常に良い雰囲気であり、私は嬉しい。北部地域から結果によっては市全域に検討していければ良いと思います。

部会長 いきなり市全体でやるのは難しいと思います。いこまいC A Rについてニーズを把握するために今回(事務局の方で)小学校区で分析をしましたが、分析の基となった細かい一人一人の移動のデータがあります。(個々のデータを分析し)移動の時間帯や方向がまとまって、乗合が出来るようか検討するには市全域では難しいので、地域を限定し検討していくのは必要ではないかと思います。

北部地域の導入は事務局案ですが、他にも候補となる導入エリア案があれば、次回の検討部会までに提案していただければと思います。ただ、私としては北部地域で良いのではないかと思います。

委 員 検討部会の上位に公共交通会議があるのですか。

部会長 私もその会(公共交通会議)には属していませんが、道路運送法に基づき公共交通の調整をする会議が公共交通会議になり、新たな公共交通について詳細な議論をするために検討部会を今回設置したということです。

委員 AI オンデマンド交通を事務局で検討したということですが、他の検討している公共交通はあるのですか。

事務局 本市の公共交通はデマンド型のいこまいCARと路線バスがあります。それ以外の公共交通といたしましては地域の方もしくは、地域の中で事業者を募って担う定額の自家用有償運送、AIが最適なルートを算出し、停留所を運行するAI オンデマンド交通、その他に自動運転バスや自家用車を活用してタクシーが不足する地域を一般ドライバーが運行する日本版ライドシェアなどがあります。市としては、他市町の状況を確認しながら、AI オンデマンド交通を昨年度調査し、車両としてはタクシー車両よりも大きいハイエースサイズの車両を使い、AIで予約が入った時だけ停留所を回るため、効率的かと考えていましたが、運行していない時にも車両や運転手は確保しておく必要があることや運送効率が意外に良くないということが調査により分かりました。県内では、コミュニティバスを導入している自治体が多く、導入していないのは江南市と岩倉市だけです。コミュニティバスを導入している自治体からは、バス利用による運送収入が運送に係るコストに見合っておらず多額の財政負担をして運行しており、車両の維持やドライバーの確保が難しくなる中で、市として維持が難しいという現状を聞いております。

部会長 AIというのは配車のツールであり、(事務局で提示した)公共交通の違いは空間的に自由度が高いか、時間的に自由度が高いかという違いです。空間的、時間的に自由度が少ないのは時刻も決まっています、ルートもバス停も決まっているもので、予約が無くても走る。空間的な自由度が高くなると、自宅近くに停留所があり、最終的にはドアツードアである。時間的に完全に決まっていないと走らないものもあれば、一時間くらいの枠で決まっているものもある。今後(いこまいCARのデータの)ニーズを調べて、どの地域であれば新たな公共交通が成り立つか分析し、停車時刻は決めるが、予約が入らなければ走らないデマンド型の交通サービスがいいのか、(予約する必要がないくらい利用者が多く)場合によっては、定時定路線の交通サービスを導入することも可能性としてはあると思います。何か限定せずにニーズを見て検討していければと思います。

委員 事務局の方で新しい公共交通を導入するスケジュールがあれば教えてください。

事務局 検討部会は年4回で、任期は2年です。今年度の目標としましては、検討部会の中でこういった公共交通の運行形態を導入するか決めていければと思います。来年度はどういった停留所を回るか等の詳細な内容を決めて

いければと思います。

第1回目は江南市の公共交通の現状と課題を事務局から説明し、皆さんと共通認識を持ちたいというのが一番の目的としていました。今後に向けては、2回目についてはどういった案が市に適しているか事務局からも提示し検討させていただきたいと思います。

部会長 次回は細かいニーズの分析が事務局から出てくると思います。

委 員 今回の検討部会の設置のきっかけはいこまいC A Rのひっ迫ということで、いこまいC A Rのひっ迫している時間帯は午前9時から午前11時です。この時間に利用が集中しているため、いこまいC A Rの時間帯の分散、例えば17時までの利用時間を病院の夕診の時間帯にあわせて延長したり、いこまいC A Rは前日までの予約が必要ですが、時間を指定しなければ、もっと効率的な配車ができるので、当日予約を可能にするといったことで、ひっ迫の解消につながるのではないかと考えています。既存の公共交通の見直しも考えて頂けたらと思います。

事務局 いこまいC A Rの現制度について、時間帯の見直しや予約方法の見直しも検討課題であると思います。それとあわせて新しい公共交通の導入も検討していきたいと思います。

委 員 観光客と市民の移動を組み合わせることはできないですか。

部会長 いこまいC A Rは一般タクシーを利用した制度であるため、乗り合いにすることはできません。観光需要にあわせて、(市外の方が新しい公共交通を利用できるよう) 乗り方を考える事はできると思います。

委 員 いこまいC A Rについて、需要の多い時間帯の利用料を割り増しにするダイナミックプライシングを制度としてとれないですか。

委 員 タクシーの運賃は運行した距離と時間により決まるため、深夜や早朝を除きいつ利用しても同じ距離や時間であれば一律の料金でなければいけないですが、いこまいC A Rの補助額を変動させることで、制度上出来ないことではありません。

事務局 いこまいC A Rの料金については、タクシー運転手が精算時に計算しており、利用時間により料金を変動させる運賃メーターは今のところ無いため、現状では踏み込めていない状況です。

部会長 短期的には導入は難しいですが、テクニカルな面の課題であるため、検討していく余地はあると思います。

部会長 それではご質問もないようですので、予定していた議題を終了させていただきます。次第のその他に入ります。その他について事務局から説明をお願いいたします。

○その他

事務局 本日いただきましたご意見を基に、次回の検討部会資料を作成しまして、開催時期の前に開催通知と資料を送付いたしますので、委員の皆様にはご一読いただければと思います。

部会長 次回会議時に事務局の導入に向けてのスケジュールを示してもらえるといいと思います。本日の議題は以上ですので、事務局にお戻しします。ありがとうございます。

事務局 松尾部会長様には、議事進行をしていただきありがとうございました。委員の皆様におかれましては、長時間にわたり慎重なご審議を賜り、誠にありがとうございました。以上をもちまして、会議を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

閉会（午後 5 時）